

R7.12.15発行

公民館だより

作品展示会場には小学校児童による工作や
図画習字作品、公民館文化教室生徒さん方の作
品、さらに愛育部の方々による健康チェック
コーナーが設けられ次々に体験されていました。
各地区のテント村ではおにぎり、果物販売や
駄菓子、焼きそば、焼き鳥、フライドポテトの
販売でにぎわっていました。また、小学三年生
による「デニム万博」も盛り上がっていました
ふれあい広場開催にあたり関わってください
ました実行委員の皆様、各地区公民館の方々、
JAや興学会の方々等関係者の皆様に心よりお
礼申し上げます。

西江原町の人口	R 7	4,507人（男性2,183人	女性2,324人）	世帯数2,022世帯	10月末現在
	R 6	4,510人（男性2,179人	女性2,331人）	世帯数 1,973世帯	〃

西江原町 納涼盆踊り



八月十三日（水）西江原町納涼盆踊りを開催しました。
当日は町内外から多くの皆様にご参加いただき、笑顔と活気にあふれる楽しいひとときとなりました。ご参加くださった皆様、また準備や当日の運営・片付けなどにご協力くださいました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年も地域の絆を深める良い機会となりました。今後とも公民館活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
体レク部長 定光 謙

西江原町災害対策協議会による避難訓練

西江原町災害対策協議会
演題 『大規模災害の教訓』
避難所運営を通じて考えたこと
講師 岡山県教育庁教育政策課 高津 智子 先生



七月十三日（日）公民館集客室に於いて地震を想定し、各地区の要支援者の安否確認の訓練を行いました。また、講演を通して災害時の対策についての研修を行いました。

最初に各地区民生委員により電話訪問等により可能な範囲で要支援者の安否確認を行い、確認結果を報告。委員長は参加者に結果報告を行いました。その後、岡山県庁教育政策課、高津智子氏により「大規模災害の教訓・避難所運営を通じて考えたこと」の講演がありました。講演内容を教訓として西江原町も今後さらに対策を具体的に活動できるように改善していくことを対策委員全員の認識事項として確認し閉会しました。

あいさつ運動

西江原町を明るい町にする共に、ふるさと西江原を愛する子どもを育てるために、子どもたちを中心に地域の方と連携しながら挨拶運動を行っています。公民館前で挨拶運動をしていると自動車の中から挨拶を返してくださることで、様々な場所に子どもたちが描いた挨拶ポスターを掲示して下さったりしていることを子どもたちは喜んでいました。これからも地域・家庭・学校が力を合わせ、子どもたちに「挨拶をすることの大切さ」を伝えていきたいと思います。

西江原小学校長 河原 哲治



西江原小学校と義之校精神 「五つの心の誕生物語」

井原市教育長 森川 孝一



令和七年度甲山はつらつ学園の開講式で、記念講演をさせていただきました。昨年度まで勤務していた西江原小学校と、そこで受け継がれてきた「義之校精神」についてお話しした内容の一部をご報告します。

西江原小学校では、子どもたちの心の拠り所となる「心のシンボル」をつくりたいとの願いから、「義之校精神 五つの心」を定めました。その五つとは「仁・義・礼・智・信」であり、人として日々守るべき道徳「五常の道」を表しています。この取り組みは、西江原小学校において最も大切なものでした。

この精神の源流は明治六年に遡ります。当時、西江原には「仁之小学」「義之小学」「礼之小学」「智之小学」「信之小学」が設けられ、その後の統合により「義之小学校」が誕生しました。これが現在の西江原小学校の直接のルーツです。

私は、まず「義之の五つの心」として校長だよりに掲載しましたが、その日付が奇しくも今回の講演会と同じ六月十四日（三年前）であったことに、不思議な縁を感じました。

また、昭和五十九年六月二十八日に挙行された「新建義之校記念碑」建立の式典において、当時の佐藤道夫校長が「義之校の精神」という言葉を述べておられたことを経過報告の文書で知りました。講演では、その経過報告の実物写真を紹介し、美しい毛筆で書かれた「仁・義・礼・智・信」や「義之校の精神」を皆さんにご覧いただきました。「新建義之校記」は坂田丈平（号・警軒）先生によるもので西江原小学校の歴史を語る上で欠かせない記録です。講演では、生成 A I を活用して原文の漢文を読み下し文や現代語訳、要約に紹介しました。

私は、経過報告中の「義之校の精神」をもとに「義之校精神 五つの心」を作りましたが、実は「義之校精神」という言葉が記念碑背面の銅板に刻まれていることを知らないまま西江原小学校での勤務を終えました。今回の講演準備で改めて銅板の文字を読み、「我々は常に衿を正し、義之校精神を後世に伝承していくことを念願してやまない」という一文に出会い、大きな感慨を覚えました。もし講演の準備がなければ、この言葉に気づくこともなかったでしょう。

講演会の最後は、次の言葉で締めくくらせていただきました。

「大好きな西江原小学校、大好きな西江原町の、ますますのご発展を心より祈念いたします。」



記念碑背面に刻まれた「義之校精神をさらに」

ふれあいスポーツ大会

十月十九日



（目）にグラウンドゴルフ・ペタンク・バレーボールの三種目が同日に開催される予定でした。しかしながら夜中から雨に見舞われ、グラウンドコンディション不良のためやむなく屋外種目は中止となり、屋内のバレーボール大会のみの開催となりました。各部選出の選手は、小学生から大人まで幅広い年齢選手の出場により和気あいあいとした雰囲気の中での試合となりました。今年はリーグ戦によりワンセット二十一点先取のチームが勝ちというルールで行われ二部が優勝しました。応援に力も入り楽しい交流時間となりました。

	1部	2部	3部	4部	順位
1部		×	○	○	準優勝
2部	○		○	○	優勝
3部	×	×		○	3位
4部	×	×	×		4位

まちづくり報告

西江原地区まちづくり協議会

雄神川探検



かぶと山つ子クラブでは、九月二十日（土）に雄神川のホタルの里周辺で川探検を行いました。小学生二十一名とボランティアの大人雄神川流域の自然と環境を護る会のメンバーが参加しました。最初に岡山県環境学習指導者の野中裕さん（神戸）から観察のしかたや注意する点について教えてもらい、実際に川へ入って生き物を捕まえました。魚を捕まえる気満々な子や水につかるのが不安そうな子もいましたが、次第にみんな笑顔になりました。最後に採集できたカワムツ、ヨシノボリ、ヤゴ、カゲロウ、カワニナ、シジミ等の生物の特徴を教えてもらい、自然を守る大切さを感ずることが出来ました。

今回の体験を通じて、子どもたちが西江原町内の自然環境へ興味を持ち、大切にしていける心を育んでくれたらなと感じました。

西江原子どもの森プレーパーク



田畑や山・竹林など、広い自然環境のなかでの子どもたちの自由で意欲的な活動、また季節に合わせたの協働作業（野菜・果実の栽培や収穫、水遊び、焼き芋等々）は、子どもたちの心身の豊かさや自己肯定感を育みます。保護者や運営委員も一緒に楽しく遊びます。

戸倉で毎月第二日曜日に必要に応じて開くこの事業も開始五年目を迎えました。今年は雨天と重なり、門での干し柿づくりや大人だけの交流を楽しむこともありましたが、親子だ

誰でもどこからでも参加できます。親子だけでなく、おじいちゃんおばあちゃんのご参加も歓迎です。

（連絡先・621-3259 宗高）



（写真は、竹渡りに挑戦する子どもたち）



百歳おめでとう ございます

8月28日に中町の谷井初美さんが100歳を迎えられ、ご家族で長寿を祝われました。10月末現在、市内100歳以上の方は男性6人、女性68人。西江原町内では男性1人、女性7人となっています。健康寿命を延ばしましょう。

を発見したように思います。

ちは、自分たちが脈々と受け継がれてきた歴史の中で生きていることや、西江原が伝統を大切にしてきた素敵な街であること

この学習を通して、子どもたち

た。今まで西江原町にそのような史跡があることを知らなかったという子がほとんどで、子どもたちは感動をもって地域の方のお話に耳を傾けていました。

七月四日（金）四年生は、「ふるさと学習」を実施しました。まちづくり協議会の方にバスを出していただき、永祥寺や小菅城址、摩利支天宮を見学しました。西江原史跡顕彰会の方から西江原町に伝わるお話を聞いたり、史跡を見たりすることで、地域の歴史や先人の努力を知ることができました。今まで西江原町にそのような史跡があることを知らなかったという子がほとんどで、子どもたちは感動をもって地域の方のお話に耳を傾けていました。

ふるさと学習

西江原公式HP（西江原DO）

「西江原DO」で検索。公民館だよりや史跡顕彰会報の新規分などを検索できます。



西江原公民館

〒715-0006 井原市西江原町1414
Tel・Fax 0866-62-8129
mail:nishi-km@ibara.ne.jp